

下関市中学校生徒指導主任研修会 生徒指導主事とは？

下関市内の中学校の生徒指導主事の皆さんに加え、市教育委員会関係者や参加を希望された校長先生方と共に「生徒指導」について協議を通して学び合いました。問題行動、いじめ、不登校、保護者対応や関係機関との連携等、日夜組織的に生徒指導に取り組むキーマンとして活躍されている方々だからこそ、熱心にそして楽しく参加してくださいました。特に、研修前と研修後の「生徒指導主事」のイメージが大きく変わっていたのが印象的でした。

1 生徒指導主事とは

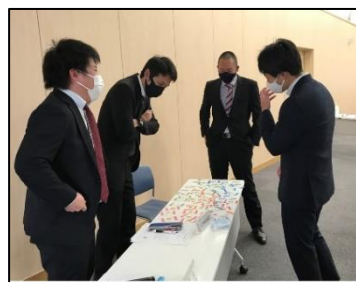
研修前	研修後
学校警察(特攻隊)	ほめほめ推進委員長
亭 把	笑顔マキ子 生徒も先生も
次男 トキ ~乗剛利 肩指OOのち(相対相対 ほめ)	マキ子 慈愛心
中間の中間管理職	人の意識や見方など かえる人
ハブ(情報の集約・中継点)	マキ子「ほめる」 マキ子「マキ子」担当
いたばさみの仕事 (ポジション)	やりがいのあるポジション
生徒と生徒、生徒と教師、教師と教師 学校と関係機関など、人々との つながりを担う役割をもつ仕事。	「ほめる」と「しがる」を バランスよくもった 接着剤
何となく屋	何となく屋の社長



NO.707 2022年1月 下関市中学校生徒指導主任研修会

鏡は先に笑わない

笑顔は伝染する。自分が笑顔だから相手も笑顔になる。だから、自分から笑顔になろう。



NO.705 2022年1月 下関市中学校生徒指導主任研修会

楽しいことは

正しいことは伝わりにくい。楽しいことは伝わりやすい。だから、正しいことを楽しく伝えよう。

日頃ほめることが圧倒的に多く、ほめる(ほめる場面)が
ないかと改めて感じました。自分自信はほめられた方がやる
気になるの、当然生徒もそう思うだろうと思います。しっかりと
生徒にわかりやすく、適切なメッセージでほめていきたい
です。そうして教職員集団をつくりたいと思います。



NO.706 2022年1月 下関市中学校生徒指導主任研修会

細部をほめる

ほめる時は、事実について具体的に伝える。「そこに気がついてくれたのか!」と、思わせるくらいに。



NO.704 2022年1月 下関市中学校生徒指導主任研修会

美点凝視

よく見ると相手の良さが見えてくる。もっとよく見ると、これまで気がつかなかった相手の価値を発見できる。



先手ほめ

ほめるとは、相手の良さや価値を発見し、言葉と態度で伝えていく。自分からやってみよう。



大人の笑顔

大人が楽しそうだと、子ども達は、はやく大人になりたいと思う。未来の大人のためにも笑顔でいよう。

上記↑の2つの写真は、前日に行われた、山の田中学校での有志による職員研修から

生徒指導では教員に対して正しいと思ってる事、正しいこと
多しなると。正論として伝える事も自分の責任だ気がする。
正しいことを正しく伝える。時に相手も責めを返して来るとい
うことを改めて考えさせられました。生徒間、教員間が楽しく
学校生活を送れる雰囲気づくりにしていきたいと思っております。

褒めると、思いと違ったり思っていること大切を気づかす。
同じ思いをもつて、ほめる、褒める、という相手か
たすに変わった。かたをほめることできる存在と学びました。
しっかりとほめ、しっかりと叱る教師になりたいと思っております。

とても自分自身が考えさせられる時間があった。今後を振り返
りがて、子どもに対してどうだったのか、自分がどうだったかを
考えていけるのか、そして改めてこれからの教員、人々に対して
伝えたい、やる責任があるので、今日学校に戻ってすぐに伝えたい
言葉も増えた。

楽しい研修、いざなわれていた。研修が楽しかった。研修が、
研修がある、いざなわれていた。研修が、研修が、研修が、
研修が、研修が、研修が、研修が、研修が、研修が、
研修が、研修が、研修が、研修が、研修が、研修が、

生徒指導主任は任せて、頼りたくなる。頼りたくなる。頼りたくなる。
何となくやる、何となくやる、何となくやる、何となくやる、
自分が、自分が、自分が、自分が、自分が、自分が、
自分が、自分が、自分が、自分が、自分が、自分が、
自分が、自分が、自分が、自分が、自分が、自分が、

本日の研修で、自分の大切さを実感した。生徒一人一人の
よさを発見して、認めて感謝と励みになることをこの実践して
いきたいと思つた。また、叱り方についても、正しい叱り方成
績しているか、自己をより高めたいと思つた。

自分の大切にしたいと思つた。具体的な答えは、
自分の大切にしたい。今回の研修の中で、最も嬉しい
研修だった。ありがとうを言いました。